

答えがここでした

3自衛隊 合同コンサート



陸上自衛隊中央音楽隊
Ground Self-Defense Force



海上自衛隊東京音楽隊
Maritime Self-Defense Force



航空自衛隊航空中央音楽隊
Air Self-Defense Force

令和8年

3月6日 金 18:00 開場 19:00 開演

3月7日 土 12:00 開場 13:00 開演

柏市民文化会館 (千葉県柏市柏下107)



WHY?

陸海空自衛隊

— 演奏曲目 —

第1部



航空自衛隊航空中央音楽隊

指揮 演奏班長 3等空佐 芳賀 大輔

国歌吹奏

地上の冒険 (映画「E.T」より) J.ウィリアムズ
シンク・オブ・ミー A.L. ウェバー

Air Self-Defense Force



陸上自衛隊中央音楽隊

指揮 隊長 1等陸佐 志賀 亨

行進曲「剣と拍車」 J.P. スーザ
ダンソン第2番 A. マルケス (O. ニッケル編曲)

Ground Self-Defense Force



海上自衛隊東京音楽隊

指揮 隊長 2等空佐 植田 哲生

歌劇「トゥーラン・ドット」セレクション G. プッチーニ

Maritime Self-Defense Force

— 休憩 —

第2部



3 自衛隊合同演奏

指揮 航空自衛隊航空中央音楽隊 副隊長 3等空佐 朽方 聡

バレエ音楽「シバの女王ベルキス」 O. レスピーギ
I. ソロモンの夢 II. 戦いの踊り III. 夜明けのベルキスの舞い IV. 狂宴の踊り

航空自衛隊航空中央音楽隊



陸上自衛隊中央音楽隊



海上自衛隊東京音楽隊



— プロフィール —

航空中央音楽隊は、1961年航空音楽隊として東京都立川分屯基地に発足、1982年航空中央音楽隊となり、防衛大臣直轄の音楽隊として防衛省の式典及び各地での演奏会など年間約100回の演奏活動を行っています。これまで今上天皇即位の礼や東京オリンピックをはじめ、数多くの国家行事及び国際イベントに参加しています。

1992年に世界の優秀な軍楽隊に贈られる「ジョージ S. ハワード大佐顕彰優秀軍楽隊賞」をアジアで初めて受賞し、1995年には静岡県浜松市で行われた世界吹奏楽大会 (WASBE) に出演しました。1999年に陸海空自衛隊の音楽隊として初めて、カナダで開催された「ノバスコシア国際軍楽祭」に参加するとともに、アメリカのワシントンD.C. においてアメリカ空軍軍楽隊と共演。近年では2018年ドイツ及びオランダ、2022年フランス、2023年ベトナム及びスイス、2024年フィリピンに派遣され、2025年4月にはアメリカ「ヴァージニア国際軍楽祭」に参加するとともに、アメリカ空軍ヘリテージ・オブ・アメリカバンドと共演。同年9月イギリス及びドイツにおける親善訪問「アトランティック・イーグルス」に参加。また2026年2月には、オーストラリア「ロイヤル・エジンバラ・ミリタリー・タトゥー・ブリスベン」及びニュージーランド「ロイヤル・エジンバラ・ミリタリー・タトゥー・オークランド」に参加しました。航空中央音楽隊は多様な任務に対応するため2023年東京都府中基地に移転し、これからも吹奏楽のあらゆる可能性を追求し様々なジャンルの演奏に挑戦し続け、演奏会、SNS、動画配信を通じて国民と自衛隊の架け橋として積極的に活動してまいります。

中央音楽隊は、1951年6月、陸上自衛隊の前身である警察予備隊の音楽隊として発足し、以来74年にわたり日本を代表する吹奏楽団として歴史を積み重ねてきた。防衛大臣直轄の音楽隊である中央音楽隊は、国賓・公賓の歓迎行事での特別儀仗演奏を延べ100か国、1,600回以上行い、これらの功績により2015年、「内閣総理大臣特別賞状」を受賞した。また、過去のオリンピックや天皇陛下御即位に伴う祝賀御列の儀など、国家的な行事にも数多く参加し、首都圏で開催される定期演奏会及び室内楽演奏会、全国各地へのコンサート・ツアーやオフィス街におけるコンサートのほか、日本武道館で行われる自衛隊音楽まつり、陸海空自衛隊合同コンサート、21世紀の吹奏楽「響宴」やジャパン・バンド・クリニック、2025大阪・関西万博への出演、CD録音やメディア配信など多彩な演奏活動を行うとともに、全国の陸上自衛隊音楽隊員に対する教育も担当している。更に海外での活動として、韓国 (2002年、04年、11年)、フィンランド (2014年)、英国スコットランド (2017年)、ロシア (2019年)、スウェーデン (2024年)、パプアニューギニア (2025年) の各国際軍楽祭への参加や、米陸軍軍楽隊・米海兵隊音楽隊、ドイツ連邦軍参謀軍楽隊との共演、ワシントンD.C. でのABA (全米吹奏楽指導者協会) 総会、フランスでの室内楽演奏、ミッドウエスト・バンドクリニックへの出演などを行うとともに、2015年からはパプアニューギニア国防軍楽隊、2025年からはジブチ軍楽隊の能力構築支援を行うなど、音楽を通じた国際交流に貢献している。

東京音楽隊は、海上保安庁音楽隊を前身とし、1952年海上警備隊音楽隊として発足し、保安庁警備隊音楽隊、海上自衛隊音楽隊と名称を変え、1956年6月1日に海上自衛隊東京音楽隊となり、本年で70周年の節目を迎えました。海上自衛隊を代表する防衛大臣直轄の音楽隊として「隊員の士気高揚のための演奏」、「儀式、式典における演奏」、「広報演奏」を任務とし、日本国内にとどまらず、幅広い演奏活動を行っています。日本国の重要な儀式での演奏から国内外で行われる国際的な行事にも参加しており、2019年には今上天皇陛下御即位に際し、「祝賀御列の儀」に奏楽部隊として参加し、演奏を行いました。また、海上自衛隊が毎年実施している遠洋練習航海に隊員を派出し、世界各地の港を中心に音楽を通じての国際親善に貢献しています。近年では、ノルウェー (2014年)、スイス (2016年)、カナダ (2019年) で開催された軍楽祭にも参加しています。2018年には世界の優秀な軍楽隊コンサートバンドに贈られるもっとも名誉ある賞「ジョージ・ハワード大佐顕彰」(スーザ賞) を受賞しました。

アンケートにご協力ください

今後の広報イベントに皆様の声を反映するため、インターネットでアンケートを行なっております。右のQRコードからご回答ください。

